

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Aブロック 2回戦＞

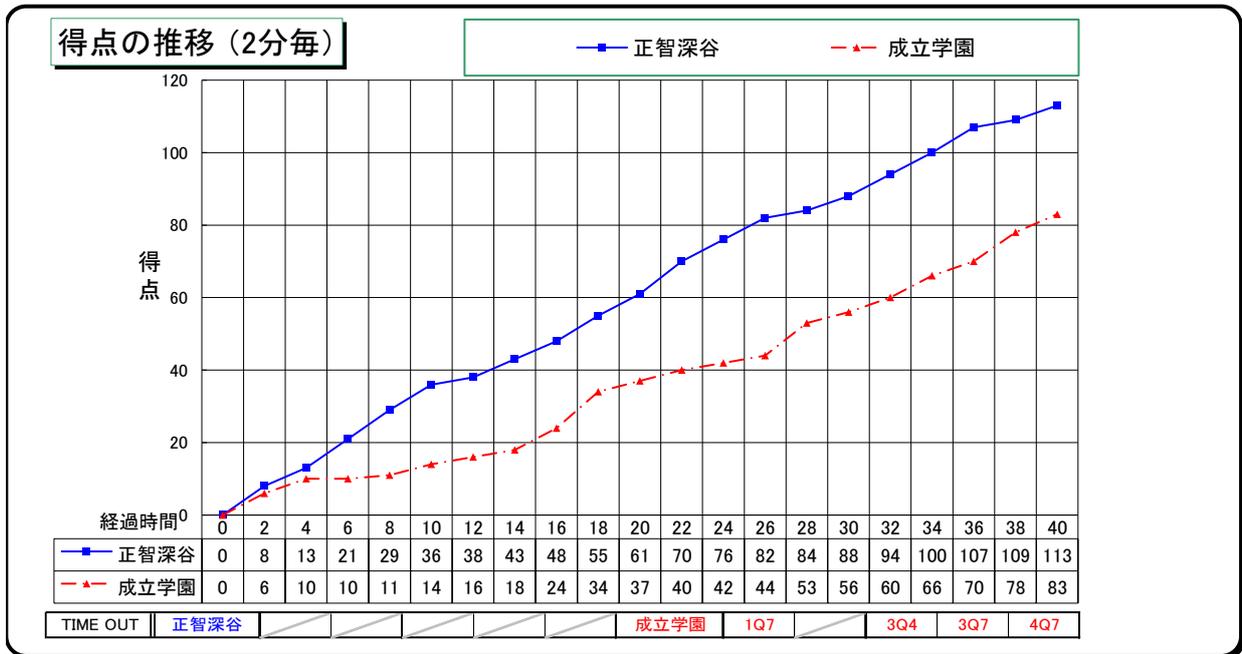
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Cコート	第6試合 16:30～													
<チームA> 正智深谷 埼玉		113 { <table border="0"> <tr><td>36</td><td>1Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>25</td><td>2Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>27</td><td>3Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>25</td><td>4Q</td><td>27</td></tr> </table> }		36	1Q	14	25	2Q	23	27	3Q	19	25	4Q	27	<チームB> 成立学園 東京	
36	1Q	14															
25	2Q	23															
27	3Q	19															
25	4Q	27															

主審：細田 知宏(東京) 第1副審：若林 謙作(栃木) 第2副審：星野 駿(茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	三村 蓮	22	1	8	14	6	7	2	1	3	2	
○	5	花形 大雅				1			1	1	1		
○	6	宿輪 章太				1							
◎	7	市川 大徳	15	1	3	5	8	2	2	3	1	3	6
◎	8	秋穂 将斗	14	2	10	4	8		2				
◎	9	グビノゲン オサゼ テロウ	24	2	3	7	13	4	4	3	3	3	4
○	10	飯島 康介	2			1	4		2		1	1	
	11	山田 仁弘											
	12	河野 奏真	3	1	1								
○	13	板崎 煌河	2			1	1		1	1			
	14	佐々木 寧											
○	15	中武 優羽	4			2	4		1		2		
○	16	早船 哉斗			1					1			
○	17	加藤 駿	9	1	5	3	7				4		
○	18	岡野 一輝	18			8	10	2	2	1	3	6	1
		コーチ 成田 靖											
合計			113	7	24	39	71	14	15	16	11	23	14

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	1	山川 温暉	1					1	2	1			2
○	2	細田 林蔵			1		1					1	1
◎	3	阿苗 奈愛育 デヴィス	2			1	3			2	4	1	
◎	4	長野 大二郎	14	1	6	4	13	3	6	1	4	5	6
◎	5	村越 悠貴	34	5	20	6	14	7	8	3	1	6	1
◎	6	田制 優芽	5	1	1	1	3			2		1	
	7	本間 順成											
○	8	小林 虹			1		1			1	3		
	9	岩瀬 隼輔											
	10	牧野 実											
○	11	長橋 柊	7	1	3	4	1	1					
○	12	小林 笑大	4	1	2	3				2	2		4
○	13	諏訪原 淳	3	1									
○	14	紺野 航平	5	1	4	1	2						2
◎	15	渡邊 斗耶	8			3	7	2	2	2	4	4	2
		コーチ 永田 雅嗣郎											
合計			83	9	35	21	51	14	19	14	18	20	16

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者：大塚 康浩

男子2回戦、正智深谷高校(以下正智)と成立学園(以下成立)の対戦。

第1Q、正智はハーフコートマンツーマンディフェンス、成立はオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。成立は#4長野、#5村越のドライブで果敢に攻める。しかし、正智の速いヘルプディフェンスに阻まれ、ターンオーバーが増えてしまい、正智に速攻で流れを掴まれてしまう。正智は、#4三村のドライブや#18岡野のディフェンスリバウンドからの速攻で1Q36点を量産した。

第2Q、成立のオフェンスが機能し始め徐々にシュートが入り出す。#5村越のベースラインドライブが決まると、連続3Pで得点を重ねる。#11長橋がバスケットカウントとその後のフリースローを決めると完全に成立ペース。このQは25-23の互角の戦いにもつれ、61-37で前半が終了した。

第3Q、正智は速いディフェンスローテーションで堅い守りを維持する。#9グビノゲンがスペースをついたドライブを成功させると、正智のオフェンスの1対1に勢いが増し、みるみる点差を離していく。対する成立は3Q開始3分でタイムアウトをとり流れを変えにかかると、#12小林の連続得点で点数を縮めようとするが、正智の高い決定力が勝り、正智が点差を離す形となった。

第4Q、成立はオールコートマンツーマンディフェンスで、正智にプレッシャーをかけて反撃を試みる。#5村越、#11長橋が1対1を仕掛け、ファールからフリースローで得点をする。正智#9グビノゲンがドライブやスティールから得点し応戦する。成立が残り3分36秒で最後のタイムアウトを取り、そこから#6田制の3P、スティールで連続して得点を重ねていくが、点差は縮まらず113-83で正智が勝利を収めた。